



2025年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2025年5月14日

上場会社名 ポパール興業株式会社
コード番号 4247 URL <https://www.poval.co.jp/>

上場取引所 東 名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 孝敏
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鈴木 哲彦 TEL 052-419-1827
定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 2025年6月27日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・個人投資家向け配信及び当社サイト動画掲載)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績 (％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期	3,378	5.9	238	24.9	267	22.5	80	56.6
2024年3月期	3,589	0.7	317	13.7	345	9.8	185	27.5

(注) 包括利益 2025年3月期 89百万円 (67.9％) 2024年3月期 279百万円 (1.5％)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	％	％	％
2025年3月期	30.56	—	1.4	3.8	7.1
2024年3月期	70.48	—	3.3	5.1	8.9

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 ー百万円 2024年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2025年3月期	7,152	5,717	79.8	2,165.93
2024年3月期	6,877	5,726	83.0	2,165.85

(参考) 自己資本 2025年3月期 5,706百万円 2024年3月期 5,706百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	483	386	101	1,025
2024年3月期	456	765	96	834

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	％	％
2024年3月期	—	18.50	—	18.50	37.00	97	52.5	1.7
2025年3月期	—	19.00	—	19.00	38.00	98	124.3	1.8
2026年3月期(予想)	—	19.50	—	19.50	39.00		48.9	

3. 2026年 3月期の連結業績予想(2025年 4月 1日～2026年 3月31日)

(％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期(累計)	1,827	12.0	152	26.9	162	21.7	96	79.2	36.58
通期	3,610	6.9	320	34.2	340	26.9	210	161.0	79.75

注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.13「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご参照ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期	2,634,800 株	2024年3月期	2,634,800 株
2025年3月期	226 株	2024年3月期	226 株
2025年3月期	2,634,574 株	2024年3月期	2,634,574 株

期末自己株式数

期中平均株式数

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、2025年5月26日(月)に機関投資家・アナリスト・個人投資家向け説明会を開催する予定です。

当日使用する決算補足説明資料については、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報の注記)	19
(重要な後発事象の注記)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、全体として緩やかな回復基調をたどりました。但し各国の金利政策によりインフレが収束に向かうも、世界的な関税措置の動向や中国経済の一段の減速懸念など足元では不確実性が高まっております。国内経済につきましても、雇用・所得環境の改善により持ち直しが見られるものの、米国の通商政策、為替の変動、物価上昇の影響により、先行きの不透明感が続いております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は3,378百万円（前年同期比5.9%減）となりました。利益につきましても、合理化改善や販売価格の値上げを実施したものの、原料価格の上昇、および新工場棟の建設や製造DXの導入など将来に向けた基盤投資の負担増加によって営業利益は238百万円（前年同期比24.9%減）、経常利益は267百万円（前年同期比22.5%減）となりました。また、当社グループ連結子会社である博宝楽輸送帯科技(昆山)有限公司において、事業環境の変化を背景とした収益性の低下が見込まれること、および現地事業の不確実性が増していることを理由に固定資産の減損損失として特別損失を計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は80百万円（前年同期比56.6%減）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

(総合接着・樹脂加工)

ベルト関連製品は、主に自動車・鉄鋼業界向けの需要が底堅く推移した一方で、研磨関連製品は、ディスプレイ用の研磨部材においては需要回復の遅れに加え、得意先が在庫調整に入った影響で減少いたしました。

地域別では、国内は研磨部材の減少により、前年同期比2.5%減となりました。

アジア地域では、中国の景気低迷の影響もあり、前年同期比4.3%減となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2,840百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

(特殊設計機械)

特殊設計機械につきましては、新規顧客の開拓を進めた結果メカニカルシールが増収となった一方で、食品向け加工機の受注が谷間となり大幅な減収となりました。

以上の結果、売上高は537百万円（前年同期比19.2%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて275百万円増加し、7,152百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が265百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて284百万円増加し、1,434百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて9百万円減少し、5,717百万円となりました。これは主に、利益剰余金が18百万円減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて191百万円増加し、1,025百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ26百万円増加し、483百万円となりました。これは主に、減価償却費の増加17百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前年同期に比べ378百万円減少し、386百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出額の減少293百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、前年同期に比べ198百万円増加し、101百万円となりました。これは主に、短期借入金が増加した200百万円計上されたことによるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の情勢は、地政学的な不安定の継続、各国の関税政策に伴う世界景気の下振れ懸念、米中対立と中国の内需回復の遅れ、原料価格・電力料金の高止まりなど、不確実性が更に高まることが予想されます。

当グループにとりましても、ベルト関連製品では、米中貿易摩擦の影響が内外の製造業へ波及し市場が低迷するリスク、中国企業によるアジア域内への進出が加速し、価格競争が一段と激化するリスクなどが想定されます。その一方で、ディスプレイ用の研磨部材では、得意先の在庫調整の収束を見通しております。こうした状況の下、当社グループは「中期経営計画」で策定した実施事項を着実に推進します。第一に、顧客ニーズの深耕とソリューション提供による売上総利益の向上。第二に、子会社の再構築と最適な生産・供給体制の実現、第三に、成長事業・社会課題への積極投資。第四に、新工場の画期的な生産性向上です。

各セグメントにおきましては、次のとおりであります。

(総合接着・樹脂加工)

総合接着・樹脂加工では、当社の強みである顧客のニーズを取り入れた、カスタム品の開拓、環境に配慮したサステナブルベルトの拡販に取り組んでまいります。

日本国内においては、食品、自動車、建材業界向けベルトの深耕に努めるとともに、次世代半導体用の研磨パッド等の拡販を強化いたします。

アジア地域では、中国及びタイを中心に、自動車・鉄鋼業界向けの拡販に努め、関連製品の販路開拓を目指します。

(特殊設計機械)

特殊設計機械では、主要製品であるプレワッシャー(食品用加工機)、制御盤、メカニカルシール等の販路の拡大、およびグループ内の連携による工業用ベルトと機械販売の相乗効果の実現を目指します。

(業績予想)

2026年3月期の連結業績予想につきましては、売上高3,610百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益320百万円（前年同期比34.2%増）、経常利益340百万円（前年同期比26.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益210百万円（前年同期比161.0%増）を見込んでおります。なお、想定為替レートは、1ドル145円を想定しております。

なお、上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題と認識しております。

配当につきましては、連結配当性向 30%を基本に、安定的な増配の継続を目標としております。内部留保につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、お客様ニーズに応える開発・生産体制の強化、グローバルな事業戦略の遂行および事業領域の拡大に役立てて参ります。

このような方針のもと、当期の年間期末配当金につきましては、1株につき19円を予定しております。この結果、中間配当を含めた当期の配当金は、1株につき38.0円となります。

次期につきましては、1株につき中間配当金19.5円、期末配当金19.5円とし、年間配当金は9年連続の増配となる、39.0円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内外の情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	834,418	1,025,602
受取手形	414,025	372,993
売掛金	426,387	465,291
商品及び製品	117,454	85,911
仕掛品	557,114	587,417
原材料及び貯蔵品	455,936	424,168
その他	75,949	52,799
貸倒引当金	△1,109	△226
流動資産合計	2,880,178	3,013,957
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,343,635	2,666,653
減価償却累計額	△1,194,528	△1,251,665
建物及び構築物（純額）	1,149,107	1,414,987
機械装置及び運搬具	1,469,978	1,335,262
減価償却累計額	△1,297,997	△1,229,076
機械装置及び運搬具（純額）	171,980	106,186
土地	1,740,691	1,690,077
建設仮勘定	24,146	13,883
その他	215,542	206,339
減価償却累計額	△187,166	△181,830
その他（純額）	28,375	24,509
有形固定資産合計	3,114,302	3,249,644
無形固定資産		
無形固定資産合計	6,334	22,715
投資その他の資産		
投資有価証券	719,456	681,271
長期貸付金	20,000	20,000
繰延税金資産	122,211	151,817
その他	15,541	15,233
貸倒引当金	△637	△2,031
投資その他の資産合計	876,571	866,290
固定資産合計	3,997,209	4,138,651
資産合計	6,877,387	7,152,609

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	327,142	295,480
短期借入金	20,000	220,000
未払法人税等	50,604	53,251
契約負債	19,625	42,314
賞与引当金	70,433	73,707
その他	186,712	262,200
流動負債合計	674,518	946,955
固定負債		
役員退職慰労引当金	256,126	273,327
退職給付に係る負債	184,551	187,015
資産除去債務	24,315	24,315
その他	10,921	3,100
固定負債合計	475,915	487,758
負債合計	1,150,434	1,434,713
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,605	179,605
資本剰余金	275,336	275,336
利益剰余金	4,897,775	4,879,482
自己株式	△189	△189
株主資本合計	5,352,528	5,334,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	153,828	128,851
為替換算調整勘定	199,743	243,211
その他の包括利益累計額合計	353,572	372,063
非支配株主持分	20,852	11,597
純資産合計	5,726,953	5,717,895
負債純資産合計	6,877,387	7,152,609

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,589,710	3,378,056
売上原価	2,326,823	2,191,687
売上総利益	1,262,886	1,186,368
販売費及び一般管理費	945,057	947,775
営業利益	317,829	238,593
営業外収益		
受取利息	412	380
受取配当金	22,089	24,222
受取賃貸料	2,752	1,002
補助金収入	10,000	1,175
為替差益	—	1,894
その他	2,448	1,231
営業外収益合計	37,702	29,908
営業外費用		
支払利息	107	533
為替差損	9,734	—
その他	96	0
営業外費用合計	9,937	533
経常利益	345,594	267,967
特別利益		
固定資産売却益	—	12,226
保険解約返戻金	5,686	—
特別利益合計	5,686	12,226
特別損失		
固定資産売却損	47	—
固定資産除却損	40,061	52,150
減損損失	15,458	85,514
特別損失合計	55,567	137,665
税金等調整前当期純利益	295,712	142,528
法人税、住民税及び事業税	111,519	101,169
法人税等調整額	△1,538	△28,199
法人税等合計	109,980	72,970
当期純利益	185,732	69,558
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	55	△10,944
親会社株主に帰属する当期純利益	185,677	80,503

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	185,732	69,558
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,719	△24,976
為替換算調整勘定	72,347	45,157
その他の包括利益合計	94,067	20,180
包括利益	279,799	89,738
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	278,738	98,994
非支配株主に係る包括利益	1,060	△9,255

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	179,605	275,336	4,808,260	△189	5,263,013
当期変動額					
剰余金の配当			△96,161		△96,161
親会社株主に帰属する 当期純利益			185,677		185,677
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	89,515	—	89,515
当期末残高	179,605	275,336	4,897,775	△189	5,352,528

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	132,108	128,401	260,510	19,792	5,543,315
当期変動額					
剰余金の配当					△96,161
親会社株主に帰属する 当期純利益					185,677
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	21,719	71,342	93,061	1,060	94,122
当期変動額合計	21,719	71,342	93,061	1,060	183,637
当期末残高	153,828	199,743	353,572	20,852	5,726,953

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	179,605	275,336	4,897,775	△189	5,352,528
当期変動額					
剰余金の配当			△98,796		△98,796
親会社株主に帰属する 当期純利益			80,503		80,503
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	－	－	△18,293	－	△18,293
当期末残高	179,605	275,336	4,879,482	△189	5,334,234

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	153,828	199,743	353,572	20,852	5,726,953
当期変動額					
剰余金の配当					△98,796
親会社株主に帰属する 当期純利益					80,503
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△24,976	43,467	18,491	△9,255	9,235
当期変動額合計	△24,976	43,467	18,491	△9,255	△9,057
当期末残高	128,851	243,211	372,063	11,597	5,717,895

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	295,712	142,528
減損損失	15,458	85,490
減価償却費	126,893	144,030
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	678	513
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,417	3,349
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,609	3,141
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	13,019	18,155
受取利息及び受取配当金	△22,502	△26,108
補助金収入	△10,000	△1,175
支払利息	107	533
有形固定資産売却損益 (△は益)	47	△12,226
有形固定資産除却損	40,061	52,150
保険解約返戻金	△5,686	—
売上債権の増減額 (△は増加)	43,329	9,752
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△3,649	58,591
仕入債務の増減額 (△は減少)	33,085	△33,999
その他	32,898	115,719
小計	563,645	560,446
利息及び配当金の受取額	21,092	24,543
利息の支払額	△109	△670
法人税等の支払額	△138,428	△102,421
補助金の受取額	10,000	1,175
営業活動によるキャッシュ・フロー	456,199	483,074
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△753,234	△459,386
有形固定資産の売却による収入	340	120,381
有形固定資産の除却による支出	△29,321	△49,841
無形固定資産の取得による支出	△264	△5,408
投資有価証券の払戻しによる収入	6,354	6,376
貸付けによる支出	△806	△1,005
貸付金の回収による収入	1,786	2,708
保険積立金の解約による収入	9,818	—
差入保証金の回収による収入	2,995	220
差入保証金の差入による支出	△2,739	△186
投資活動によるキャッシュ・フロー	△765,072	△386,141
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△96,449	△98,796
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	200,000
非支配株主への配当金の支払額	△450	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96,900	101,203
現金及び現金同等物に係る換算差額	22,336	△6,952
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△383,436	191,183
現金及び現金同等物の期首残高	1,217,855	834,418
現金及び現金同等物の期末残高	834,418	1,025,602

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当連結会計年度の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前連結会計年度については遡及適用後の連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、「総合接着・樹脂加工事業」及び「特殊設計機械事業」の2つを報告セグメントとしております。

「総合接着・樹脂加工事業」は、ベルト及び研磨用部材などの生産・販売をしております。「特殊設計機械事業」は、主に食品向けの機械を設計・製造・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調 整 額	連結 財務諸表 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機 械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,924,812	664,898	3,589,710	—	3,589,710
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,065	—	4,065	△4,065	—
計	2,928,877	664,898	3,593,775	△4,065	3,589,710
セグメント利益	371,646	9,670	381,316	△63,487	317,829
セグメント資産	5,475,351	691,962	6,167,314	710,073	6,877,387
その他の項目					
減価償却費	111,817	15,184	127,001	△108	126,893
減損損失	—	15,458	15,458	—	15,458
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	726,847	35,721	762,568	—	762,568

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント			調 整 額	連結 財務諸表 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機 械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,840,595	537,460	3,378,056	—	3,378,056
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	—	25	△25	—
計	2,840,621	537,460	3,378,082	△25	3,378,056
セグメント利益	268,065	30,429	298,494	△59,901	238,593
セグメント資産	5,736,477	737,854	6,474,331	678,277	7,152,609
その他の項目					
減価償却費	129,669	14,441	144,110	△80	144,030
減損損失	85,514	—	85,514	—	85,514
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	524,882	1,868	526,750	—	526,750

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	3,593,775	3,378,082
セグメント間取引消去	△4,065	△25
連結財務諸表の売上高	3,589,710	3,378,056

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	381,316	298,494
セグメント間取引消去	17,140	18,758
全社費用（注）	△80,627	△78,660
連結財務諸表の営業利益	317,829	238,593

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	6,167,314	6,474,331
セグメント間取引消去	△9,383	△962
全社資産（注）	719,456	679,240
連結財務諸表の資産合計	6,877,387	7,152,609

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない有価証券であります。

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	127,001	144,110	△108	△80	126,893	144,030
減損損失	15,458	85,514	—	—	15,458	85,514
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	762,568	526,750	—	—	762,568	526,750

(注) 減価償却費の調整額は固定資産に係るセグメント間の未実現利益の調整額であります。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	その他	合計
2,946,082	607,416	36,211	3,589,710

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	アジア	合計
2,740,782	373,520	3,114,302

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
A G C株式会社	417,148	総合接着・樹脂加工

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の開示をしているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	その他	合計
2,761,874	581,589	34,592	3,378,056

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	アジア	合計
3,076,409	173,234	3,249,644

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
A G C株式会社	250,603	総合接着・樹脂加工

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

（単位：千円）

	総合接着・樹脂加工	特殊設計機械	全社・消去	合計
減損損失	—	15,458	—	15,458

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

（単位：千円）

	総合接着・樹脂加工	特殊設計機械	全社・消去	合計
減損損失	85,514	—	—	85,514

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

該当事項はありません。

(1株当たり情報の注記)

	前連結会計年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額	2,165円85銭	2,165円93銭
1株当たり当期純利益金額	70円48銭	30円56銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2023年4月 1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月 1日 至 2025年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	185,677	80,503
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	185,677	80,503
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,634,574	2,634,574

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	5,726,953	5,717,895
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	20,852	11,597
(うち非支配株主持分 (千円))	(20,852)	(11,597)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	5,706,100	5,706,298
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数 (株)	2,634,574	2,634,574

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。